

みなみ

災害時

地域で共に支え合うために

- ①画…災害時、地域で共に支え合うために
セーフティーネットプロジェクト横浜
- ②画…南区災害救援ボランティアネットワーク (サーブネット)
[kokua]
- ③画…南区社協がらのお知らせ・ご報告

社協 みなみ

■発行日：平成29年2月1日
 ■発行：社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会 会長 大津 幸雄
 〒232-0024 南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階
 Tel.045-260-2510 Fax.045-251-3264
<http://www.minami-shakyo.jp>

南区社会福祉協議会は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らしていくために、ボランティア、福祉・保健関係者や行政の協力を得ながら地域の福祉活動を進め、またその活動を応援する組織です。



台風・地震・津波などの災害が発生した場合、被災地では地域のことを一番よく知る住民による支え合いが大きな力を発揮します。いざという時に地域で支援し合える体制が構築できるよう、日頃から地域防災力を高める活動に取り組んでいる団体を今号では紹介します。



セーフティーネットプロジェクト横浜

横浜市内の障がい福祉関係団体と機関で組織した「セーフティーネットプロジェクト横浜」は、障がいのある人や家族が、自分たちでできることから活動していくことを大切にしながら、地域の方たちへさまざまな障がいについての理解を深めてもらい、障がいのある人が地域で安心して暮らしていけるよう、活動しています。

「セーフティーネットプロジェクト横浜」では、災害時に配慮が必要となる障がいのある人が、避難場所等で必要な支援を受けることができるよう、地域に向けて出前講座などの啓発活動を行っています。

詳しくはコチラ→ <http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/safetynet/safetynet.html>



南区災害救援ボランティアネットワーク（サーブネット）

大災害が発生したときに立ち上げられる「災害ボランティアセンター」の中心となり、地域を支えるために集まったボランティアの受入・派遣・情報発信を担うのが「南区災害救援ボランティアネットワーク（通称：サーブネット SARV NET : South Accident Rescue Volunteer Network）」です。今回、代表の高松清美さんに活動の状況や、南区の特性などお話を伺いました。

サーブネットは、災害時に備えて関係機関の連携を図ることを目的に平成18年5月に設立されました。現在は35名ほどのメンバーが活動を行っており、月に一回行われる運営委員会では、いざという時にサーブネットが効果的な役割を担っていけるよう運営マニュアルを作成したり、ハザードマップなどを用い災害を想定したシミュレーションを行っています。

南区は、埋め立て地・造成地が多く、また川もあるため、災害時にたくさんの場所が危険箇所となることが想定されます。東日本大震災の経験から、水の確保および帰宅困難者の避難場所の確保等、協力体制は少しずつ充実してきています。しかし、体制が十分に整っても、大規模な災害はときに想像を超える被害をもたらして



てしまうため、冷静な判断を行うことも困難な状態になり得ます。パニックに陥らない為に、まずは自分で自分を守るための動きや備え（自助）が防災の基本とされていますが、実際には自分で出来る事にも限界があるため、近くにいる人が近くにいる人を助ける「近助の精神」も地域で大きな役割を果たします。南区内には、高齢者や外国籍の方もたくさん暮らしているため、災害時の声掛け・助け合いを行う上で、日頃からのつながりづくりや防災に関連した取組がより重要になると思います。今後も地域で行われる訓練などに参加しながら、サーブネットの取組の周知や協力体制の構築に努めていきたいです。



kokua

障がい児者の親の会「泉の会」に所属しているメンバーの有志が、障がいへの理解を深める啓発活動を行うために結成したグループが『kokua』です。東日本大震災の際に、周囲の理解が無いことにより避難場所に居られなくなった障がい者とその家族の様子を新聞記事などで知り、同じ親として心を痛め、どんな時であっても地域で皆と一緒に過ごすために出来る事は無いかと、活動を本格的にスタートさせました。『kokua』では障がい児者の気持ちを知ってもらう啓発活動に取り組みの重点を置いており、上手い出来ない事や言葉が伝わらないことによるもどかしさを少しでも知ってもらえるよう、疑似体験を通して障がいの理解向上を図っています。また、これまで南区内の地域防災拠点訓練でも出前講座を行っており、災害時のコミュニケーションボードの活用などを呼びかけています。さらに、『kokua』の啓発活動をきっかけとして、障がいのある方が地域の様々な行事に参加する機会も増え、障がい児者に対する地域の理解は少しずつ浸透してきています。代表の根本益子さんは「『kokua』とはハワイ語で“協力する”という意味があります。障がいがあっても無くても災害に対して不安を感じる気持ちに変わりはありません。地域みんながお互いの気持ちを思いやり、誰もが心から安心して暮らしていくため“協力し合える”社会になって欲しいと願いながら、これからも活動を広げていきたいです。」とお話されていました。



南区社協からのお知らせ・ご報告

平成29年度トモニー助成金説明会を実施します

福祉に関する活動を行っている団体で申請を希望する団体は必ずご出席ください。(出席者につきましては代表者や連絡担当者の方以外でも可能ですが、1団体2名以内でお願いします。)

①対象団体

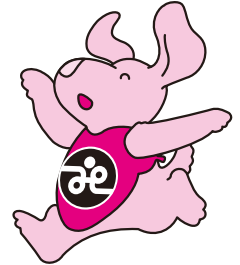
南区内で活動する市民活動団体、障がい当事者および家族団体。

②対象事業

- 複数の横浜市民を対象とする、南区内で行う地域福祉の推進を目的とした非営利な事業。
- 横浜市・南区、または横浜市社会福祉協議会からの補助・委託等を受けていない事業。
※親睦のみを目的とする事業、主に自助を目的とする事業は対象外とします。

③助成の制限

- 申し込みは1団体1事業とします。
- 助成額については、申込多数の場合、減額調整することがあります。
- 食材費・イベント等の飲食経費は助成対象外となります。



◆日時：平成29年3月14日(火) 18時00分～
平成29年3月15日(水) 10時00分～(★)
14時00分～
平成29年3月18日(土) 10時00分～(★)
14時00分～
※全日とも同内容
※(★)は保育あり

◆場所：南区福祉保健活動拠点「トモニー」
多目的研修室



◆保育：3月15日(水)と18日(土)の午前の部は、別室に保育コーナーをご用意します。お子様連れの方はなるべくこの日にご参加ください。保育コーナーの利用は、3月1日時点で6ヶ月以上のお子様とさせていただきます。

◆申込み：前日まで
※定員に達した場合は、ご希望に添えない場合がございます。
※保育については、3月3日(金)までにお申込みください。

問い合わせ：南区社会福祉協議会 TEL 260-2510 FAX 251-3264

賛助会員にご加入いただきありがとうございました

地域活動やボランティア活動等の一部には、行政からの補助金や共同募金などが使われています。しかし、活動を安定・充実させるためには、それらの財源だけでは十分でなく、「地域ぐるみの応援」が必要となります。南区社協では、世帯(個人)に賛助会員にご加入いただいております。平成28年12月末日現在3,744,100円ものご協力をいただきました。ありがとうございます。引き続き皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

善意銀行寄付者

(H28年10月1日～12月31日) ※敬称略、順不同

- | | |
|----------------|-----------|
| ・はーとふるの会 | ・ちとせ会 |
| ・手芸ボランティア すずらん | ・奥野祥子 |
| ・南区食事サービス団体連絡会 | ・横浜太極拳同好会 |
| ・大場章雄 | ・木村節朗 |
| ・南区ダンススポーツ連盟 | ・匿名(8件) |
| ・浜けい子 | |
| ・六ツ川台あいの会 | |
| ・まるわの会 | |
| ・南区三曲会 | |



南区福祉功労者感謝の会

南区の社会福祉向上のために尽力・貢献された方々に感謝の意を伝えるため、「南区福祉功労者感謝の会」を実施しています。

今年度も、南区社会福祉協議会と南区役所主催で平成28年12月7日(水)に行われ、18名・5団体の方々が受賞されました。

授賞式後、『ウクレレ レファ』のウクレレ演奏を楽しみ、和やかなひと時を過ごされました。



平成28年度

日赤社資募集にご協力ありがとうございました。

12月末日現在、南区地区委員会に寄せられました社資は13,671,651円です。主に区内の火災等の被害者へのお見舞金や地域の防災活動費、国内外の災害援助活動等の資金として使わせていただきます。

編集委員 (アイウエオ順) 相澤君夫・池田昭太郎・大八木綾子・末永寿美子・藤井琴代・美甘康信

★「社協みなみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。

ポラぴ!!

no.26

「ポラぴ!!」のぴは
ピッピッと感じるアンテナ
ピースのぴ
ぴかいちのぴ
Pit inのぴ



それから...

南区ボランティアセンター
南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階
Tel. 260-2531 Fax. 251-3264
◆開館：年末年始をのぞく午前9時～午後5時◆
(日・祝祭日も開館しております)



みんなで広げよう
ささえあいの
輪



日時：平成 29年 2月19日(日)
11:00～14:30

場所：トモニー (南区福祉保健活動拠点)
& 浦舟地域ケアプラザ
浦舟町 3-46 浦舟複合福祉施設 8F・1F
<受付は8Fで行います>

入場無料

南区ボランティアフェスタ



手芸品販売

楽しくなければボランティアじゃない!
誰でも参加でき、家族で楽しめるボランティアのお祭りです。
いっしょにボランティアの楽しさを体験しませんか?
ボランティアをはじめたいという方のための相談コーナーも
あります。

※まるごとみなみスタンプラリー対象イベント



体験!

体験・実演コーナー

手話コーラス・ミニ手話講座・点字体験・
ハンディキャブ乗車・木のおもちゃづくり・
おもちゃ病院・アイマスク体験・
ボランティア犬とのふれあい等



動物とのふれあい



科学おもちゃ工作



おもちゃ病院

来て!

販売コーナー

手芸品・作業所クッキー・
コーヒー・お好み焼き・
東日本大震災復興支援品等



マジックミニ講座

見て!

活動紹介コーナー

パネル展示・防災グッズ紹介・
二胡演奏・詩舞・フラダンス・
ボランティア登録受付・相談・
ちよこっとボランティアはじめ
ケアプラザでのボランティア紹介等



ボランティア
登録・相談

こわれた
おもちゃがあったら
もってきてね!

先着300名に
世話焼き(大判焼)
プレゼント!



ポラメイト

南区内で活動するボランティア
仲間(メイト)を紹介します

「送迎ボランティアグループ 南の風」

代表 松本武弘

車いすで乗れるハンディキャブ車を使
って、公共交通機関の利用が難しい
高齢者や障がいのある方の外出のお
手伝いをしているグループです。乗降
時のお手伝いや病院付き添いも行っ
ています。

他区との合同研修会や懇親会など
の行事も行い、楽しく活動しています。

*運転ボランティアは普通免許で可・
別途講習があります



一緒に活動
してくれる方大募集!

ボランティア入門講座

「はじめの一步」をママからスタートしませんか?

*日 時：2月25日(土)10時～12時
*場 所：トモニー(南区福祉保健活動拠点)
*参加費：無料



ボランティアセンター運営委員募集

私たちと一緒にボランティアセンターの運営、善意銀行の配分などについて検討して下さる方を募集しています。
会議は年2回程度です。あなたの思いを活かした魅力あるボラセンづくりにご協力ください。

ポラぴ掲載内容の問い合わせ・申込みは
南区ボランティアセンター TEL.260-2531